

福島・中国高校生友好交流事業「あいのみ」参加者募集要綱

一般社団法人 Bridge for Fukushima

代表理事 伴場 賢一

1 主催団体

一般社団法人 Bridge for Fukushima 代表理事 伴場 賢一

2 事業概要

(1) 事業の目的及び概要

福島の高校生が自ら企画・実施・事業評価を行う、福島県内高校生と上海市内高校生の友好交流事業である。福島と中国を高校生の草の根友好相互交流でつなぐことで日中関係の回復に寄与すると共に、日中両国の抱える課題をテーマとしたディスカッション等を通じ相互理解を深める。

(2) 事業の内容及び日程

・9月下旬～12月上旬 上海での交流内容作成

-中国側高校生とのオンラインミーティング等を通じた交流会議

-交流時ディスカッションの準備（月1回程度、福島市で実施予定）

**◆メイン交流：12月21日(水曜)～25日(日曜) 中国渡航による上海市内高校生との交流(4泊5日)**

【第1日目】福島発 上海着（仙台空港発を予定）

高校生同士の交流(訪問予定先：復旦大学附属中学)

夕食会

休憩・就寝（復旦大学附属中学の寮を予定）

【第2・3日目】中国の企業・団体等訪問

日中の参加高校生が会議によりテーマ(医療・教育・福祉など)を設定し、それに合わせた訪問先を高校生が選定します。

ワークショップ【テーマごとの課題に関するディスカッション】

【第4日目】中国の高校授業体験

中国の家庭体験

【第5日目】上海発 福島着

※中国の受入側との調整により、内容に変更の可能性があります。

(3) 募集人員 福島県内の高校生 10名程度

(4) 応募資格

- ・福島県内在住の高校生であること※県外避難中の福島県民生徒は要相談
- ・交流活動内容を主体的に創造できること
- ・月1回程度の福島市で実施予定の準備会議に参加できること

※本取組では、昨年度参加者が今年度参加者をリードしつつ、中国の高校生と共に交流内容をつくりあげていきます。次年度への引き継ぎを考慮し、新規メンバー選考の際は高校1年生を優先しますが、高校2年生の応募を妨げるものではありません。

(5) 個人負担金

◆交流(上海渡航)に際し、30,000円/人 程度を予定

### (6) 申し込み方法

参加希望者が別添様式「参加用選考様式」「参加承諾書」を記入、以下へ直接郵送願います。公欠届などが必要な場合や、外部での交流プログラム参加に学校の許可が必要な場合、必ず自分が所属する学校内の担当教諭に手続き方法を確認の上、担当教諭の氏名・連絡先を書き添えた上で、弊団体が作成・押印する必要がある書類があればそれを貼付の上ご応募ください。別添様式は Bridge for Fukushima web サイト(<http://bridgeforfukushima.org/koukouseip/aidemi>)からダウンロードし、ご記入ください。

郵送先：〒960-8061 福島市五月町 2-22

一般社団法人 Bridge for Fukushima 「あいでみ」係 宛て

**締切：2016年10月6日(木曜)上記事務所へ必着**

### 3 事業実施に至った経緯

平成 25 年 3 月、「高校生同士の交流を日中関係改善のきっかけにしたい」との思いから、福島県立福島高等学校の一年生(当時)がキャリア教育の一環として日中高校生友好企画「福島にあいでみ」を企画し、株式会社 JTB コーポレートセールス、一般社団法人 Bridge for Fukushima 等の主催・協賛のもと、福島県内(南相馬市小高地区、猪苗代町、福島市)で復旦大学附属高校、上海市大同高校の教員及び生徒を招へいし交流事業(被災地復興状況視察、スキー交流、英語でのワークショップ)を行った。また、平成 25 年 12 月、平成 26 年 12 月には、独立行政法人国際交流基金の助成、福島県上海事務所の協力のもと、福島県内の高校生十数名が上海の復旦大学附属高校を訪問し、「福島にあいでみ」の企画メンバーたる高校生自身が設定したテーマ(「日中の社会的企業」「日中の環境問題」等)について議論し、交流を行った。以後、毎夏に福島交流が、毎冬に上海交流が実施される定期交流となり、現在に至っている。

このたびの事業は、日中双方の継続した交流が国際的視野を拡大させ、文化的・歴史的・経済的に切り離すことのできない日中関係を現地での活動を踏まえて理解し、双方の抱える課題を解決することを目標とすることで、将来の福島・上海、ひいては両国を担う高校生のキャリア選択に有益な経験となるとの考えのもとに、福島県教育庁社会教育課「平成 28 年度子どもがふみだすふくしま復興体験応援事業」の助成、福島県上海事務所等の協力を得て実施することとなったものである。

上海での訪問先は、復旦大学附属高校及び高校生自身の選択するテーマに基づいた場所を予定しており、上海市のトップレベルの高校生との交流や海外での共同生活を通じて福島側参加者の更なるステップアップを期待するものである。

(問い合わせ窓口：事務担当 一般社団法人 Bridge for Fukushima 加藤  
電話 024-503-9069 e-mail : [info@bridgeforfukushima.org](mailto:info@bridgeforfukushima.org))